

新しい地方経済・生活環境創生交付金 第2世代交付金(旧:デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))の効果検証

類型	No	交付対象事業の名称	事業概要	R6年度 交付金 受入額	KPI(単位未満は四捨五入)		
					項目	R6目標	R6実績
ソフト事業	1 「ことば」を軸とした文化芸術による 関係人口拡大事業 【R2-R6】	<p>○文化的なまちを推進する取組 ・2020年に応募された「ことば」の活用や、シンポジウム等を実施</p> <p>○関係人口を拡大する取組 ・「俳句ポスト365」の運営や、俳句甲子園全国大会を実施</p> <p>○民間主導のまちづくり ・市民参加型学習プログラム「アーバンデザイン・スマートシティスクール松山」を開講</p>	35,850千円	松山市への移住者数	550人	3,095人	
				俳句甲子園全国大会のために松山を訪れたOBOGの数	44人	71人	
				「ことばのちから」や「松山アーバン・アート」のイベント参加者数	4,678人	4,441人	
	2 多様な人材活用による仕事づくり 推進事業 【R2-R6】	<p>○都市部の複業人材等を活用した人手不足対策支援 ・都市部の複業人材と市内企業のマッチングプログラムをオンライン中心で実施</p> <p>○短時間勤務を活用した企業労務改善事業 ・松山しごと創造センターで、創業予定者や企業経営者等を対象に経営課題の解決や戦略による打開策の相談を実施</p>	8,000千円	事業を通じてのマッチング人数(関係人口)	65人	82人	
				労務改善を実施した企業数	30社	30社	
	3 第2のふるさと、新しい人の流れ創出事業 【R3-R7】	<p>○グリーンスローモビリティ活用事業 ・グリーンスローモビリティを観光客等へ貸出し、移動の脱炭素化、観光振興につなげた ・ソーラーカーポートで発電した再エネ電力の一部をグリーン電力証書化</p> <p>○観光産業の高付加価値化と自立性を実現するプラットフォームを支援 ・地域課題の解決等に向けた活動を行うプラットフォーム(SDGs推進協議会)を支援</p> <p>○サステナブルツーリズム推進事業 ・民間企業とタイアップし、自然体験や食体験を通したSDGs旅行商品を販売・PRするなど、SDGsを核とした体験型の修学旅行や周遊観光を促進し、滞在時間と観光消費額を拡大</p>	29,555千円	サステナブルツーリズムの利用者数	前年度+3,500人 (単年:23,928人)	前年度+1,651人 (単年:23,928人)	
				サステナブルツーリズムの利用者のうち、地方への移住又は通学に興味を持った割合	前年度+9%	前年度-8.5% (単年:9.9%)	
				ほしむるテラス姫ヶ浜の利用者数	前年度+150人	前年度-1,053人 (単年:2,921人)	
				グリーンスローモビリティの走行距離	前年度+1,750km	前年度+882km	

新しい地方経済・生活環境創生交付金 第2世代交付金(旧:デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))の効果検証

類型	No	交付対象事業の名称	事業概要	R6年度 交付金 受入額	KPI(単位未満は四捨五入)		
					項目	R6目標	R6実績
ソフト事業	4	若者視点に立った新たなまちの魅力創造事業【R6-R8】	○若年層に魅力のあるコンテンツ ・松山市が舞台の映画「がんばっていまつしそい」の公開に合わせ、ウェブサイトの開設や、NFTが取得できるARデジタルスタンプラリー等を開催 ・地元学生で「マツワカ」を結成し、地元企業との商品開発や企業紹介リーフレットの制作、イベントを実施 ・若者を対象としたファッショニイベントTGCと連動し、ユースカルチャーを発信、体感するイベント「JAMCLAP MATSUYAMA」を開催	47,911千円	地域へのUIJターン数(人)	前年度+200人	前年度+101人
			○住みたいと思えるまちづくり ・移住促進のため、ウェブサイトやSNSなどによる情報発信、移住ツアーなどの体験機会の充実、東京・大阪での移住フェアに出展し、移住検討者に松山の暮らしの魅力を紹介 ・小中高校生の「ジュニア防災リーダークラブ」や大学生防災士「防災リーダークラブ」と、自主防災組織や地元企業をつなぐ防災教育を実施		若者文化賑わい創出事業の市民参画者数(人)	前年度+20人	前年度+54人
			○若者や女性をターゲットにした魅力発信 ・松山市が目指すまちの姿や大切にしていく想いを紹介する「松山市ブランディングサイト」を開設し、ブランドスローガンやロゴの紹介、PR動画や市民インタビューなどを掲載 ・若い女性をターゲットに、松山を知り訪れるファンになってもらうため“都会さあり、地方の魅力ありの松山”を効果的に発信できるようインスタグラムを開設		本市に関するポジティブツイート件数	前年度+20,000件	前年度+35,000件
			○発信した情報への接触人数		前年度+47,100件	前年度+159,133件	
5	5	デジタル技術やデータを活用した戦略的な産業振興推進事業【R6-R8】	○民間事業者と連携したデジタル活用による地域産業及び観光振興施策の開始 ・楽天市場の「愛媛百貨店」や、楽天トラベルと連携し、クーポンやWEB広告を活用した効果的なPRにより、購買意欲や宿泊旅行意欲の醸成、観光誘客を促進 ・市内事業者向けのSNSやデータ活用等に関するセミナー開催や、物産、観光、ふるさと納税に関するユーザー属性や消費行動、経済効果などを分析し、経済及び産業の活性化を促進	16,828千円	地域における新規雇用者数	前年度+20人	(R7.8月調査予定)
			○まつやま農業の未来を見据えた投資の開始 ・公民連携窓口を活用し、スマート農機を扱う民間事業者によるドローン農薬・肥料の散布やバッテリー駆動型農機の体験研修会を開催 ・愛媛大学と連携し、アボカドの安定生産に影響する授粉を助ける昆虫の動態や害虫の加害行動、果実品質への影響などの基礎研究を実施		参加事業者EC売上額及びOTA経由宿泊予約額	前年度+14.57億円	前年度+9.26億円
			○物産購買と観光のクロス利用者数		前年度+1,488人	前年度-53人	
			○スマート農業に取り組んだ新規就農者の割合		前年度+10%	前年度+29%	
小計(ソフト事業)				138,144千円			
道整備	6	SDGs未来都市まつやまの実現に向けた安全安心なみちづくり計画【R4-R8】	○市道及び農道の整備 ・市道と林道を一体的に整備し、地域の歴史資源等を安全に回遊出来る道路ネットワークを構築するとともに、生産効率を改善し農林業の振興を図る ・農林業の振興により森林等の適正管理を維持・改善し、水源かん養等の公益的機能の向上を図り土砂災害の防止を図る ・経営基盤の安定により農林業従事者の離職を防ぎ、更には新たな雇用を生み出し地域の定住者を増やすなど「SDGs未来都市計画」(2020年松山市策定)の実現に向けた安全と安心が実感できるみちづくりを目指す	108,071千円	交通事故発生件数の縮減	891件	1,013件
					木材生産量の増加	800m ³	9,307m ³
					Uターン転入者の促進(累計)	10,977人	17,107人
令和6年度交付金受入合計額				246,215千円			